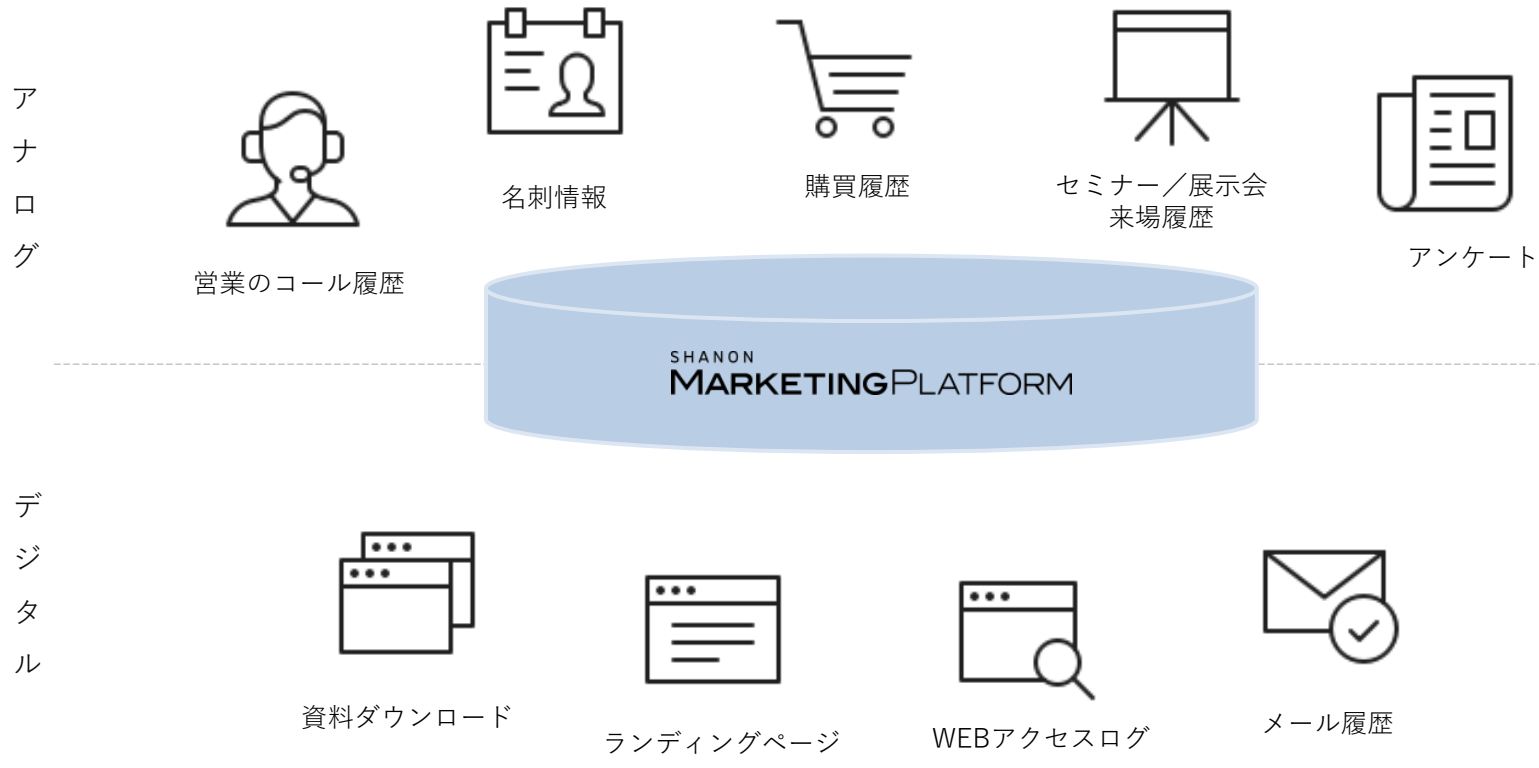
初期構築について

Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

初期構築とは

マーケティング施策が実施できるシステム環境の基盤を構築する。



Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

①リードインポート

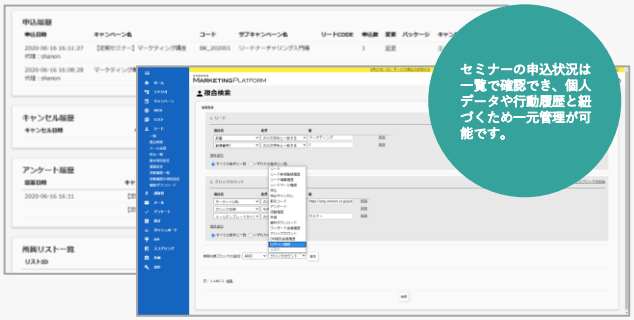
Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

概要

①リードインポート

実施内容

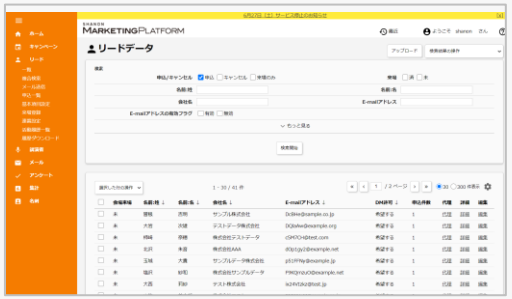
SMPのリードインポート方法を理解し、現在保有しているハウスリストデータをSMPへ取り込むことができた状態となる。



目的

アナログ接点で獲得したリード情報をSMP内で統合管理する。

例）展示会やセミナー／営業活動時の名刺データ／他システムデータetc.



～本業務の重要性～

リードインポート時に設定が必要となるリード追加項目は、簡単に新規作成／削除できてしまう容易さから、数多くの項目を作成しがちです。ただ重複した意味合いの項目が存在したり作ったものの運用が行われなかったり、運用可能な本当に必要な項目は何かを考えることが、運用後のリード分析業務に影響が及ぼすため非常に大事な業務となります。

Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

設計例

①リードインポート

設計例

リード項目は履歴情報のように追加／蓄積される情報ではなく、上書きして更新される属性情報と呼ばれるデータです。
そのため「セミナー参加目的」「架電結果」等の情報は、アンケート・活動履歴等の履歴項目へ格納することがおすすめです。

属性情報エリア

履歴情報エリア

[リード追加項目]

■ **管轄部署**	ラジオボタン型	営業企画課／営業一部／営業二部
■ **取引ステータス**	ラジオボタン型	未取引／取引中／取引済
■ **顧客STAGE**	ラジオボタン型	STAGE0／ STAGE1／ STAGE2
■ **リードソース**	チェックボックス型	資料請求／セミナー／WP／コール
■ **担当営業E-mail**	テキスト型	－
■ **連携フラグ**	チェックボックス型	連携対象

[アンケート]

- □ お問い合わせの目的
- □ セミナーを知ったきっかけ
- □ 製品のご検討状況
- □ お困りごと

[活動履歴]

- □ 活動者
- □ 架電の結果
- □ 商談の結果
- □ ロスト日

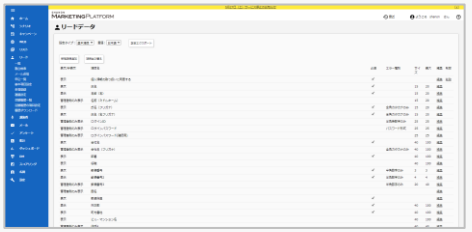
Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

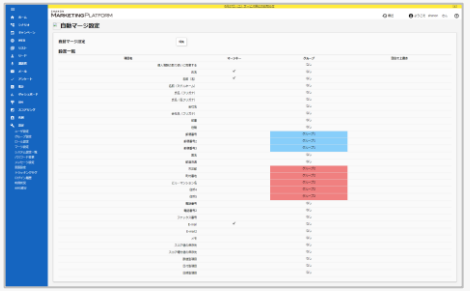
構築手順

①リードインポート

ステップ

1. **設定前準備**
    1. 自社で保有しているハウスリストを集める。
    2. ハウスリスト上で現在所有しているリード項目を洗い出す。
    3. 前頁の設計例を参考に、SMPで利用するリード項目を決める。
2. **SMPリード項目の設定**
    1. [全キャンペーン]>[リード]メニュー >[基本項目設定]メニュー。
    2. 自社で利用している独自項目を新規項目追加ボタンから登録。
3. **SMP自動マージの設定***
    1. [全キャンペーン]>[設定]メニュー>[システム設定一覧]メニュー>マージ機能の使用。
    2. [全キャンペーン]>[設定]メニュー>[マージ設定]メニューにて、設定内容を確認。
4. **SMPリード情報のインポート**
    1. [全キャンペーン]>[リード]メニュー>[一覧]メニュー>アップロードボタン。
    2. ベースファイルダウンロードボタンをクリック。
    3. ヘッダー行に合わせて、1-1で纏めてきた自社ハウスリスト情報を転記・保存。
    4. 3-1の画面にて、3-3で作成したCSVファイルを選択・登録。





*設定したキーに合致した複数のリード情報を統合する機能です。

Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

設計ワーク

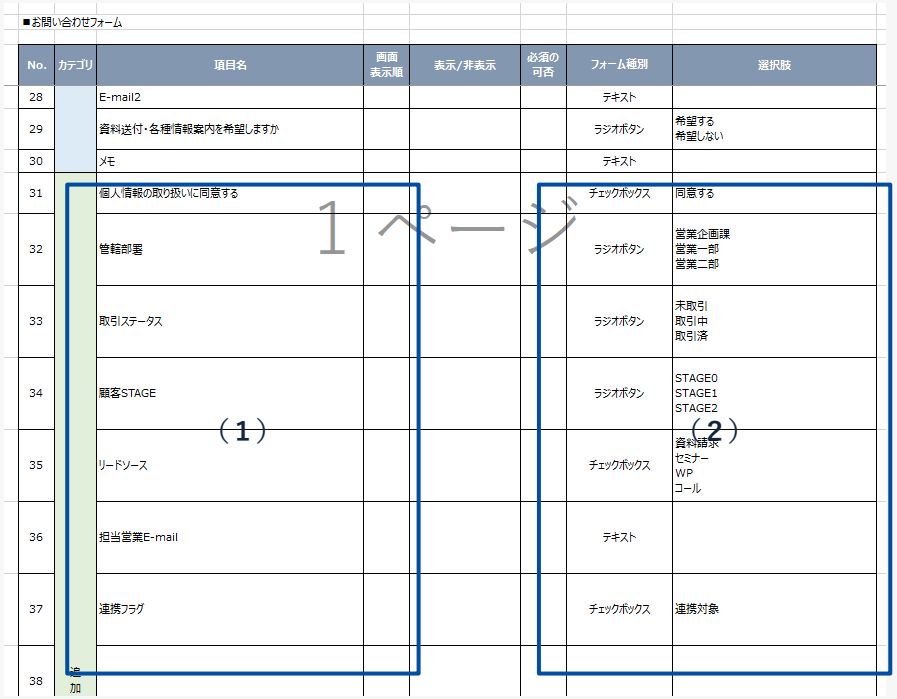
①リードインポート

ワーク

利用するシート：『初期構築 概要編ワークシート.xlsx』 リード項目シート

手順：（1）「追加項目」欄に、利用想定のリード追加項目を洗い出します。

（2）1で洗い出した項目の「フォーム種別」及び「選択肢」を決めます。



■お問い合わせフォーム

No.	カテゴリ	項目名	画面表示順	表示/非表示	必須の可否	フォーム種別	選択肢
28		E-mail2				テキスト	
29		資料送付・各種情報案内を希望しますか				ラジオボタン	希望する 希望しない
30		メモ				テキスト	
31		個人情報の取り扱いに同意する				チェックボックス	同意する
32		管轄部署				ラジオボタン	営業企画課 営業一部 営業二部
33		取引ステータス				ラジオボタン	未取引 取引中 取引済
34		顧客STAGE				ラジオボタン	STAGE0 STAGE1 STAGE2
35		リードソース				チェックボックス	資料請求 セミナー WP コール
36		担当営業E-mail				テキスト	
37		連携フラグ				チェックボックス	連携対象
38	追加						

1ページ

（1）

（2）

Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

SHANON Marketing is Science

②WEBフォーム

Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

概要

②WEBフォーム

実施内容

SMPのWEBフォームの生成方法を理解し、現在運用しているWEB上の各種登録フォームをSMPで作成したフォームへ移管できた状態となる。

目的

WEBからのリード獲得の流入経路を構築する。

例）お問い合わせフォーム／資料請求フォーム etc.

～本業務の重要性～

コーポレートサイトからリンクされたお問い合わせフォームや資料請求フォームをSMPへ移管することは、場合によっては他部門調整が必要となり実行ハードルが高いケースがございます。ただ、それらをSMPで運用することで、申込情報を自動的にSMPへ登録できたり、申込を起点にメールシナリオを発火させたり、後々の発展性を考えると移管のメリットは大きいです。

Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.
SHANON Marketing is Science

設計例

②WEBフォーム

設計例

フォームデザインは自由度が高く大きく変更することも可能ですが、まずはヘッダーフッターといった最低限の変更のみでリリースすることがおすすめです。また、リード項目や画面は最小限で設計することがフォーム離脱率を防ぐポイントとなります。

＊入力画面

ヘッダー画像の差し替え

個人情報取り扱いの規約

［リード項目］

- ■ **個人情報規約への同意**
- ■ **氏名**
- ■ **会社名**
- ■ **部署**
- ■ **役職**
- ■ **都道府県**
- ■ **電話番号**
- ■ **E-mail**

［アンケート項目］

- □ お問い合わせ内容

＊確認画面

＊完了画面

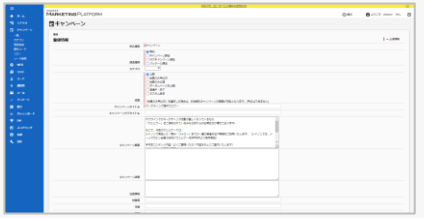
Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.
SHANON Marketing is Science

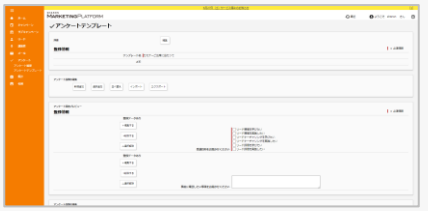
構築手順

②WEBフォーム

ステップ

1. **設定前準備**
    1. 現状利用している(もしくは新規作成する)フォームを洗い出す。
    2. 1の各フォーム上において、取得するリード項目及びアンケート項目を決める。
2. **SMPキャンペーン立ち上げ**
    1. [全キャンペーン]>[キャンペーン]メニュー>新規登録ボタン。
    2. 状態／キャンペーンタイトル／申込開始日時／開催日時／個人情報同意文言／完了画面文言を登録。
    3. [個別キャンペーン]>[リード]メニュー>[基本項目設定]メニュー。
    4. リード項目の表示/非表示・必須/任意・並び替え等を設定。
    5. [個別キャンペーン]>[アンケート]メニュー>[アンケートテンプレート]メニュー。
    6. 新規登録ボタンよりアンケートを新規登録し、アンケート設問の追加/修正ボタンより項目を登録。
    7. [個別キャンペーン]>[キャンペーン]メニュー>[フロー]メニュー。
    8. 「フロー[ユーザー情報/アンケート]」の割当ボタンよりフローを登録。
    9. [個別キャンペーン]>[キャンペーン]メニュー>[一覧]メニュー。
    10. アンケート登録ボタンよりアンケートを紐付け設定。
    11. [個別キャンペーン]>[メール]メニュー>[メール設定]メニュー。
    12. 「申込完了時（リード宛）」メールを編集して、自動送信をONに切り替える。
3. **SMPフォームデザインの調整**
    1. [全キャンペーン]>[WEB]メニュー>[ヘッダーフッター編集]メニュー。
    2. ヘッダー画像を選択・フッター文言を変更して登録。





Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

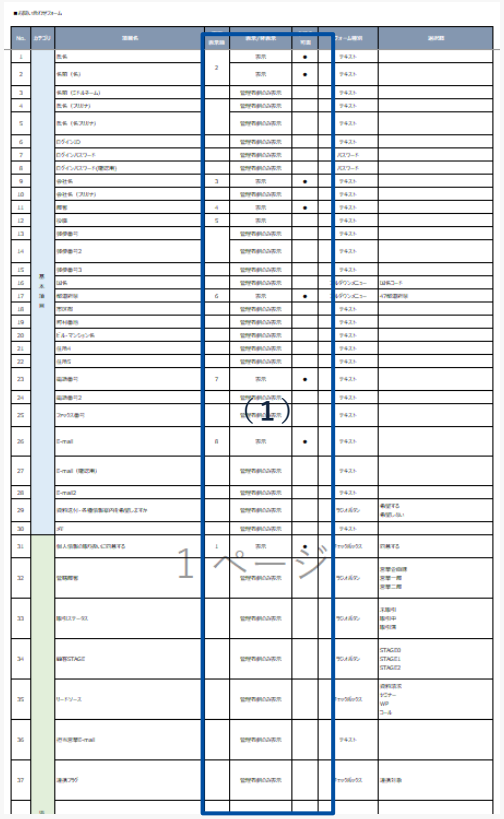
設計ワーク

②WEBフォーム

ワーク

利用するシート：『初期構築 概要編ワークシート.xlsx』リード項目シート

手順：（1）すべてのリード項目において、「画面表示順」「表示/非表示」「必須の可否」を決めます。



Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

SHANON Marketing is Science

③トラッキング

※セミナープランご契約企業様はご利用いただくことができません。

Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

概要

③トラッキング

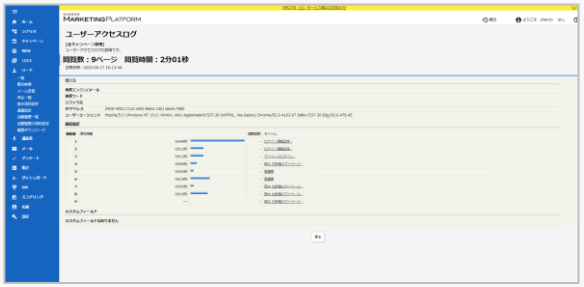
実施内容

SMPのトラッキング機能の仕様を理解し、現在運用している全HPのユーザーアクセス履歴がSMPへ登録される状態となる。

目的

WEB上でのリードの行動履歴を取得できる環境を構築する。

例）コーポレートサイト／ランディングページ／会員サイト etc.



～本業務の重要性～

WEBが普及し多様な情報にアクセス可能となったことにより、ここ数年ではBtoB向け商材であったとしても、情報収集方法は従来の営業説明からWEB上で行われることが半数以上であるというデータもございます。このような市場環境において、自社の見込み顧客がどのページにどのくらい訪問していたのかという履歴は、リード評価する上での非常に重要な要素となります。

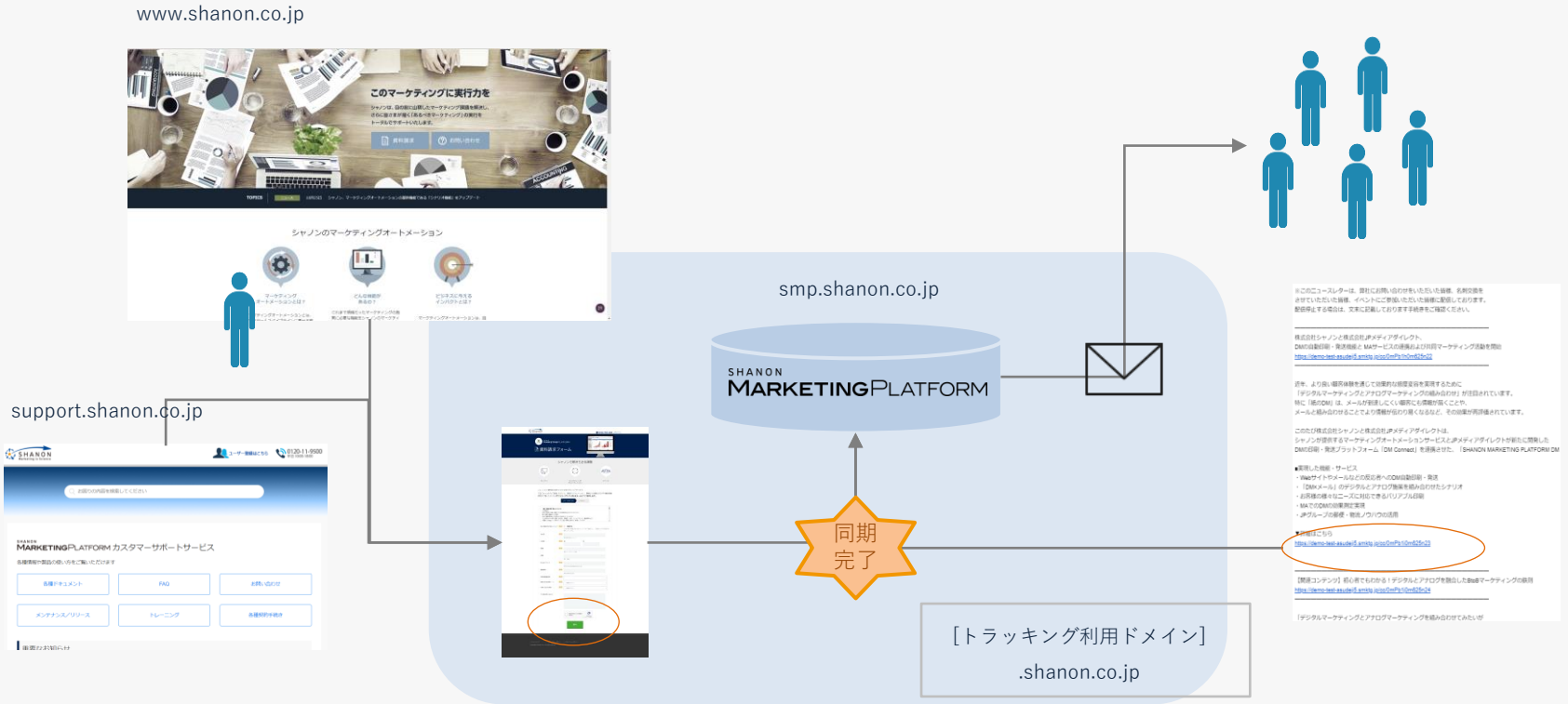
Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

設計例

③トラッキング

設計例

リードのトラッキング情報が取得できるようになるアクション(WEBブラウザのCookieとSMPリードIDを紐付ける操作)は、
主に[フォーム申込]or[クリックカウント]のため、それらの操作をリードに実施いただくような導線を設計いたします。



Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.
SHANON Marketing is Science

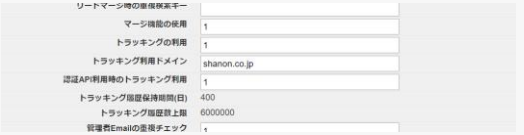
構築手順

③トラッキング

ステップ

1. 設定前準備

1. 自社で運用しているWEBサイトを洗い出す。
2. トラッキング取得したいWEBサイトドメインを決める。
3. SMPのトラッキングタグを、GTM[*1]を経由で出力するか否かを決める。
4. （GA[*1]等を既に導入済みの場合には） 2のドメインにおける月次PV数を確認する。
   ※ご契約のプランによっては、PV数の上限を超えてしまう恐れがあるため。



2. SMPトラッキング設定

1. [全キャンペーン]>[設定]メニュー>[システム設定一覧]メニュー>編集ボタンをクリック。
2. 「トラッキング利用ドメイン」項目に、1-2で決めたドメインを入力して登録。

（以後、GTMをご利用の場合のみ）

1. SMPテンプレート設定・GTMタグ設定

1. GTM側のタグ設定。http://smpdoc.shanon.co.jp/ja/tracking/cam3/chapter004/001/003/
2. SMPテンプレートから「$FORM{Common.page_vars}」[*2]を一斉置換で削除(もしくはコメントアウト)。
3. [全キャンペーン]>[WEB]メニュー>[ヘッダーフッター編集]メニュー。
4. 「javascript/CSSなど」項目にGTMのscriptタグを「ヘッダHTML」項目にnoscriptタグを登録。

*1 Google社が提供しているアクセス解析ツール及びタグマネージャーツールです。
*2 [設定]メニュー>[トラッキングタグ]メニューのタグ情報を出力する変数です。

Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.
SHANON Marketing is Science

設計ワーク

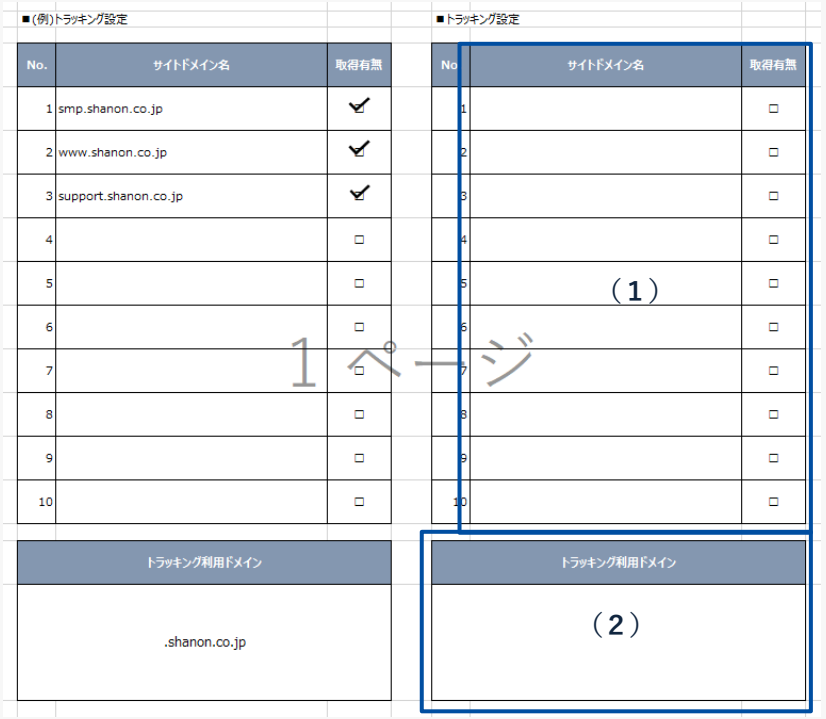
③トラッキング

ワーク

利用するシート：『初期構築 概要編ワークシート.xlsx』トラッキング設定シート

手順：（1）自社で運用している「サイトドメイン名」及びそのアクセス履歴の「取得有無」を決めます。

（2）１で決めたサイトドメインにおける、SMPシステム設定項目「トラッキング利用ドメイン」の設定値を記載します。



■(例)トラッキング設定

No.	サイトドメイン名	取得有無
1	smp.shanon.co.jp	☑
2	www.shanon.co.jp	☑
3	support.shanon.co.jp	☑
4		□
5		□
6		□
7		□
8		□
9		□
10		□

トラッキング利用ドメイン
.shanon.co.jp

■トラッキング設定

No	サイトドメイン名	取得有無
1		□
2		□
3		□
4		□
5	（1）	□
6		□
7		□
8		□
9		□
10		□

トラッキング利用ドメイン
（2）

Copyright © SHANON Inc. All rights reserved.

SHANON Marketing is Science